

ビンズイ

(学名: *Anthus hodgsoni*)

(写真・文 太田祥作)

【スズメ目セキレイ科】



▲ 只見町では秋に見られる
(10月、檐戸にて撮影)

▲ 夏は高原で繁殖する。
巣に餌を運ぶ成鳥 (7月、山形県にて撮影)

ビンズイはセキレイの仲間で、胸の黒く縦長に伸びた斑模様(縦斑)や、目の上の白い眉のような模様(眉斑)が特徴です。和名は、鳴き声を「ピンピンツイツイ」と文字に置き換えたことに由来します。水辺を好む種が多いセキレイとしては珍しく、草原や疎らな林を好みます。また、他のセキレイとは異なり樹上にもよくとまります。

只見町において、ビンズイは秋に観察できることから「旅鳥」に区分されます。「旅鳥」とは、春・秋に見られる渡り鳥のことです。国内のビンズイの季節移動は、繁殖のため本州中部より北の冷涼な地域で夏を過ごし、冬は本州より南の温暖な低地で越冬するというものです。つまり、町内で見られるビンズイは、只見町より北で子育てを終えた親鳥や、夏生まれの幼鳥が、暖かな越冬地へと渡る途中で立ち寄り、翼を休めているところなのです。

ビンズイは町内ですと、川沿いの河畔林や、林と接した農耕地に見られ、田んぼ脇の電線にとまっていることもあります。また、数羽の群れでいることが多く、一羽見つかれば近くにも次々と見つかるでしょう。その他、秋に町内で見られる旅鳥として、チュウサギやノゴマ、ノビタキなどが挙げられます。秋ならではの旅鳥の観察はいかがでしょうか。

只見町ブナセンターからのお知らせ

10月の3連休は下記イベントを開催予定です。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

只見ユネスコエコパーク特別セミナー

「ブナ林のマストは何?—遺食住から観る生きもののつながり—」

日時: 2024年10月13日(日) 13:00~14:30

会場: 只見公民館 1階集会室 講師: 箕口 秀夫 博士 (新潟大学名誉教授)

秋のブナ林観察会「どんぐりが実り、移動する秋を楽しむ」

日時: 2024年10月14日(月・祝) 9:30~12:00

観察地: 布沢「癒しの森」

参加費: 高校生以上400円、小・中学生300円、

町内在住の小・中学生、高校生100円

定員: 30名 要事前申込、締切10/12(土)

詳しくは只見町ブナセンター(電話0241-72-8355)までお問い合わせください。